

# あけぼのすぎ

都立府中療育センター新聞 第506号 発行日 令和2年1月1日

## 深津修 元院長が褒章を授章されました！

事務室広報担当 齋藤 眞殊

平成22・23年度に当センターの院長を務められた深津元院長が、2019年秋の叙勲にて瑞宝小綬章を授章されました。

深津元院長は、昭和46年3月に三重県立大学医学部を卒業され、三井記念病院や神奈川県立こども医療センターにて勤務された後、平成3年6月に東京都に採用されました。都立八王子小児病院にて麻酔科医長、麻酔科部長、副院長、院長を経験され、平成22年4月に府中療育センター院長に御着任された後、平成24年3月末の東京都退職まで府中療育センターにて勤務なさいました。

府中療育センターでは、老朽化した当センターの改築に向けて、改築の基本構想や基本計画の策定に尽力され、令和2年に移転予定の新センターの礎を築かれました。

院内運営では「重症心身障害児（者）の生活の質の向上を目指したサービスの提供」や「地域と協力した在宅支援の強化」に取り組み、個別支援計画に基づく多職種によるチーム療育、食形態の改善の工夫等で大きな成果を上げられたほか、障害者自立支援法等の一部改正を受けて利用者負担の見直し、障害者の範囲の見直し、相談支援の充実、障害児支援の充実等に尽力されました。院外に向けては「地域療育講習会」等を通して在宅の重症心身障害児（者）に対する介護力の向上に取り組み、大きな成果を上げられました。

平成24年3月に東京都を退職された後も、平成24年4月から平成30年3月まで当センターの非常勤職員として勤務され、現在は「東京療育ネットワーク」のオブザーバーとして、東京都における小児医療・療育体制の充実を目指す活動を続けておられます。

深津元院長の益々の御活躍をお祈り申し上げます。



深津元院長



(左上から時計回り) 釜看護科長、貝瀬事務長、伊藤副院長、深津元院長、大島院長

## Wa i Wa i フェスティバルに出展しました！

指導科 川手 浩一

12月7日（土曜日）と8日（日曜日）に府中駅前の「プラッツ」にて開催された「第12回Wa i Wa i フェスティバル」の作品展に、利用者さんの作品を出展しました。

Wa i Wa i フェスティバルは、府中市障害者（児）福祉啓発事業として障害者週間に合わせて毎年開催されるイベントで、府中市内の障害者施設、福祉団体、特別支援学級等から多くの作品が出展されています。

当センターでは指導科グループ「パレットクラブ」が、3病棟から6名の利用者さんと、福祉職や心理職の職員に加えてボランティアの方々も一緒に作品作りに取り組みました。今回の作品テーマは、間もなく移転を迎える当センターにおいて、普段あまりじっくりと見る機会がない施設周辺の自然に目を向け、残り少ない現センターでの生活の思い出にしたいとの意見から「草木染した布で貼り絵を作ろう」に決まりました。

作品の制作は、草木染の参考書やインターネットで集めた資料を元にして、毎週の活動の中で利用者さんそれぞれのペースに合わせて作業を進め、きれいに染められた布で花や自然を再現しました。

作品展の開催当日は、利用者さんや職員、ボランティアの方々が出展会場に集まり、一緒に作品鑑賞をしたほか、ボッチャやスタンプラリーなどのイベントコーナーを楽しんだり、障害者施設の出店ブースを回ったりしました。



## 秋の総合防災訓練を実施しました

事務室防災担当 齋藤 眞殊

11月26日（火曜日）、府中消防署栄町出張所署員の指導の下、秋の総合防災訓練を実施しました。

今回の訓練では、多摩直下で震度6弱の地震が発生したことを想定し、院内に災害対策本部を立ち上げ、府中療育センターとしての医療継続方針を検討するものでした。

災害対策本部では、各部署から報告される様々な情報を付箋に書き写し、ホワイトボードに貼り付けていきます。訓練が進むにつれてホワイトボードが付箋で一杯になり、訓練に緊張が走りました。

その後は、5-B病棟での消火・避難訓練や、消火器・消火栓による放水訓練、エアーストレッチャーを使用した搬送法、AEDの使用法など各種の訓練や防災教育を実施し、職員一人ひとりの防災意識を高めました。





## ★ クリスマス会特集 ★

今年も4-1病棟では、アンサンブル・バウムの方たちによる「森の音楽家たち クリスマスコンサート」を開催しました。管楽器と弦楽器による素敵な音色が響き渡ると、笑顔になったり、目を閉じてじっくりと演奏を聞いたり、御家族と一緒にリズムをとりながら聞いたり、思い思いに演奏を楽しむことができました。

御家族の方や他病棟からも多くの方々の参加があり、鈴やタンバリンなどを鳴らして奏者の方と一緒に楽しみながら、クリスマスを盛大に行うことができました。

4-1病棟 渡部 亜希子



5-A病棟 大塚 好雄



5-A病棟では12月4日(水曜日)、利用者さん4名と御家族の方とで昭島モリタウンへ半日バスハイクに行きました。今回は5-A病棟に入所されてから初めてバスハイクに参加される利用者さんも2名おり、行きのバス車中ではクリスマスソングを皆で楽しく歌いました。

現地に到着した後は、黄色く色づき始めたイチョウ並木を散策し、晩秋の季節感を味わいました。

ショッピングモールの中に入るとクリスマス一色で、かわいいマスコットが並んだ雑貨屋や衣料品店、書店などを見たり、御家族の方と利用者さんの洋服のコーディネートの話に花を咲かせました。クリスマスが近づく街の楽しい雰囲気を感じることができました。

3-1病棟のクリスマス会は、子供の頃にショートステイを利用されていた方が、この日のために練習したパッヘルベルのカノンをピアノ演奏して下さい、オープニングを飾って下さいました。

その後は、テノールの梅原光洋さん、ピアノの石井扶美子さんをお招きしてクリスマスコンサートを行いました。イタリア歌曲のカンツォーネからクリスマスソング、ピアノソロ、そしてピアノ連弾…とさまざまな曲の美声とピアノの音色に、利用者の皆さん、御家族、職員みんながうっとり。豊かな時間を満喫しました。

3-1病棟 青柳 絵理子



# センターも クリスマス一色です！

## 『秋の企画』を開催しました

指導科 島田 久雄

11月20日(水曜日)、あじさい館にて指導科行事『秋の企画』を開催しました。

今年の飾りつけテーマは「冬支度」です。会場では、段ボールで「巣ごもりアパート」を作り、動物たちが冬支度をする様子を再現しました。また、奥の部屋では、台風19号の影響により開催期間を短縮したため、あまりじっくりと見ていただくことができなかった「センター祭」での感覚刺激コーナーをバージョンアップさせた展示を行いました。利用者さんは、秋の野菜や、花紙で作られた干し柿などを手に取ったり、どんぐりで作ったマラカスを鳴らしたりして楽しんでいました。



また会場では、おいしい「焼き芋」と「焼きりんご」でおもてなしをしました。この日のためにグラウンドに用意したかまどを使って、焼き石でじっくりと焼きあげたサツマイモとリンゴは、素材の味だけで十分に甘く、利用者さんに大好評でした。特に今年は、筋の少ない種類のサツマイモを選んで用意したので、焼き芋をそのまま召し上がる利用者さんにも食べやすかったようです。

会場ではこのほか、ペットボトルキャップのプールに埋まったカプセルを探す「どんぐり探しゲーム」を楽しみました。わずか20秒の間に、上手な方は19個のどんぐりを拾いました。

当日はお天気にも恵まれ、利用者さんの笑顔をたくさん見ることができました。皆様、ご来場ありがとうございました。



〒183-8553  
東京都府中市武蔵台2-9-2  
東京都立府中療育センター  
電話 042(323)5115  
Fax 042(322)6207

\*-\*-\*ホームページもご覧下さい\*-\*-\*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>